



# GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー  
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報



【2012年11月19日】

## 第1068回

2012-2013年度 第16回

### 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

「我等の生業」(ロータリーソング)

### 2. 食事と交歓

#### 来訪者の紹介

##### ★ 卓話者

地区ロータリー財団補助金管理委員長  
木村 初氏 (熊本西南RC)

#### 友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)

先週あるゴルフコンペに参加して来ましたが、初めての途中棄権となりました。その日は雨でずぶ濡れになり、気温も低かった為、死ぬほど寒い思いをしました。ハーフまでは頑張り、その後すぐに温泉に直行し難を逃れ、それから昼食を食べましたが、その頃には皮肉にも雨が上がっていました。因みに、料金は通常通りでした。午後からは物足りずそれからゴルフレッスンに行きました。

さて、本日は地区ロータリー財団より木村様にお越し頂き、『未来の夢計画と地区補助金について』お話しして頂きますので、ロータリー財団についてちょっとロータリー情報集で調べてみました。

ロータリー財団とは、教育・慈善・博愛の事業によって、世界の諸国民のより良き理解と友好関係を増進するため、1917年に6人目のアーチ・クラウンPRI会長の奉仕への絶えざる熱意によって



基金として発足した非営利財団法人です。1928年ミネアポリス国際大会で『ロータリー財団』と名付けられました。

財団活動には①人道的プログラム、②教育的プログラム、③ポリオ・プラス・プログラムのプログラムがあります。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることとあります。

財団の寄付には①財団への年次基金および財団プログラムへの指定寄付、②財団恒久基金への寄付、③ポリオ・プラス基金への寄付があります。

後は木村様にご教授頂きたいと思いますので、卓話で宜しくお願いします。

#### 幹事報告 山下 隆生 会長エレクト

■ 報告事項(その他のロータリー関係)  
「熊本市域RC新春合同例会」のご案内

日時：平成25年1月8日(火) 12:30～14:00

場所：熊本ホテルキャッスル

2F「キャッスルホール」

会費：5,000円

(内、クラブより例会費として2,000円補填)

★1月7日(月)の熊本グリーンRCの例会は上記に変更となります。

卓話  
予定

- 11/26 本田 悟士 会員卓話
- 12/3 「知って得する遺言の話」 愛甲 三郎氏 (熊本菊南RC)
- 12/10 「会員増強クラブ・フォーラム」
- 12/17 「年次総会」及び「年忘れ家族会」

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

■ 例会取止め・変更

<取止め>

下記の例会を定款第6条第1節に基づき、取り止めます。

【熊本西稜RC】12月31日(月)

【熊本'05福祉RC】12月25日(火)

<変更>

【熊本西稜RC】

12月10日(月)の例会は、クリスマス家族会のため、同日18:30よりホテル日航にて行います。

【熊本'05福祉RC】

・12月4日(火)の例会は、年忘れ家族会のため、同日18:30より火の国ハイツにて行います。

・12月11日(火)の例会は、県民総合運動公園清掃のため、同日7:00より県民総合運動公園にて行います。

出席報告 松山 優喜 クラブ管理運営委

|                       | 会員総数     | 26名 | 出席率    |
|-----------------------|----------|-----|--------|
| 11月19日                | 出席免除会員数  | 1名  | 60.00% |
|                       | 計算上会員数   | 25名 |        |
|                       | 出席会員数    | 15名 |        |
| 11月5日                 | 前回の出席会員数 | 19名 | 84.00% |
|                       | メイクアップ数  | 2名  |        |
|                       | 修正出席会員数  | 21名 |        |
| メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先 |          |     |        |
| ・11/6 熊本東RC 廣坂 君      |          |     |        |
| ・11/16 熊本中央RC 中島 君    |          |     |        |

パスト会長3分スピーチ

報告者: 仙波 洋八 パスト会長



その他の報告

① 熊本RACと華友会共催

「1日バス旅行 三角と天草に行こう」の案内

報告者: 石浦 順一 アクト担当長

日時: 平成24年11月25日(日)集合 08:30(県立大学 正門) 17:30 帰着

会費: 大人 1,000円・小・中学生 500円・幼児 無料

内容: 県立大学に集合して貸し切りバスにて、お昼は三角の「食と農の体験塾」でピザやパンを作って食べ、それから天草五橋を渡り、千巖山に登り、三角西港にも行き、1日遊びます。是非お子様を連れて御参加下さい。

★うれしいお知らせ

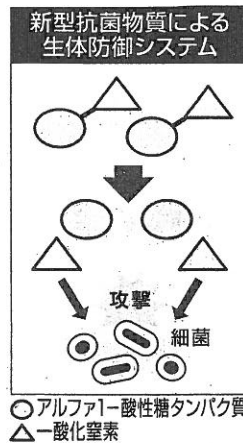
丸山会員らの大学研究グループが、このたび新型の抗菌物質を開発され、その記事が熊日に掲載されました。

熊 本 日 報 新 聞

平成24年(2012年)11月16日 金曜日

新型の抗菌物質開発

熊本大・崇城大 研究グループ 耐性菌対策に有効



熊本大薬学部の丸山 徹教授(50)は医療薬剤学と崇城大薬学部の小田切優樹教授(69)らの研究グループが、一酸化窒素と血中に含まれるタ

ンパク質からなる抗菌物質を開発した。抗生物質が効かない耐性菌にも有効で、院内感染や感染症対策につなげたいとしている。研究結果は米科学誌

オンスライン版に掲載された。丸山教授らは体内で発生する一酸化窒素が体を細菌から防御する働きに着目。たまた、通常はガス状の一酸化窒素を体内に取り込むのは難しいため、細菌感染した体内の部位で増え生体防御機能を持つアルファ1-酸性糖タンパク質(AGP)と合成した。この物質を敗血症のマウスに投与したとこ

ろ、48時間後の生存率が70%向上。試験管実験では、院内感染の原因となる多剤耐性緑膿菌やメチシリン耐性黄色ブドウ球菌など、約20種類の細菌を死滅させる効果があった。丸山教授によると、細菌の近くで一酸化窒素が分離され、抗菌作用を発揮する。AGP以外のタンパク質に一酸化窒素を合成した場合は比べ、効果が千倍程度高かった。薬剤と一緒に投与すると、耐性菌に対する薬剤の効果も回復させる結果も出たという。丸山教授は「AGP

は一酸化窒素のキャリアー(運び屋)として非常に優秀。もともと体内にあり、毒性は非常に低いと考えられる。製剤化に向けて研究を進めたい」と話している。(山口尚久)

## スマイル

仙波 洋八 会員

### ●木村 初 君(熊本西南RC)

「仙波地区研修副委員長の依頼でR財団の卓話に来ました。話がヘタな方で熊本弁まるだしで話します。宜しくお願い致します。」

### ●山下 佳介 君、山下 隆生 君

「本日の卓話者、木村初様のご来訪に感謝してスマイルします。しっかり勉強したいと思いません。」

### ●十時義七郎 君

「11月16日熊日にて、ご承知の通り私共の会員である丸山会員が新型抗菌物質開発をされました。このことは近き将来ノーベル賞候補も期待されるものであり、私共ロータリアンとしてこの度の快挙を誇りとしスマイル致します。」

### ●緒方 貞俊 君、葉 高源 君、栗山 義則 君、長野 義文 君、仙波 洋八 君

「木村R財団資金管理委員長の来訪と卓話を歓迎感謝します。九州縦断駅伝では格別のご配慮とご協力に深く感謝申し上げます。本日は大幅に改正されるロータリー財団についてのご解説有難うございます。」

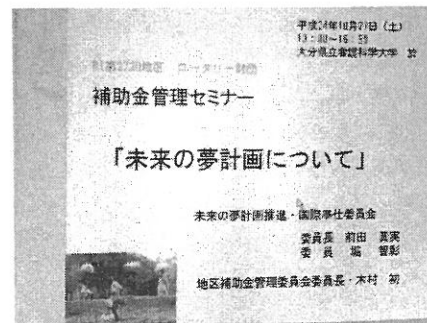
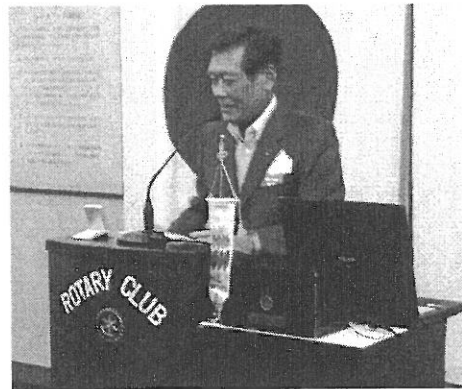
## 3. 例会プログラム

「未来の夢計画と地区補助金について」

卓話者：

地区ロータリー財団補助金管理委員長

木村 初 氏



## 【ロータリーリーダー】 Rotary Leader

### 【ロータリーを広げよう】

### 地域別のアプローチ

#### 地域に合った計画で、会員増強・維持に取り組む

「全世界で同じやり方で会員を増やそうとするのは、限界がある」と話すのは、会員増強・維持委員会のマノジュ・デサイ委員です。地域に特有のニーズ、慣行、歴史的傾向を理解することで、会員増強・維持をより効果的に推進できます。RI理事会は最近、こうした地域ごとの違いを考慮し、各地のリーダーが立案した地域別会員増強計画を承認しました。これらの地域別会員増強計画の大きな利点について、デサイ委員は、「会員基盤の成長、活気に満ちたロータリー、そして将来、最高のボランティア組織としてのロータリーを築くこと」とであると言います。

RI理事会が新たに定めた「2015年6月30日までに会員数を130万人にする」という目標に向けて、地域別の会員増強計画を基に、クラブと地区の目標と実行項目を設定しましょう。

地域別会員増強計画では、地域独自の強み、弱み、機会、課題を踏まえた、会員目標や提案項目がまとめられています。例えば、インドの計画は、国内でのロータリーの公共イメージが好ましい状況であり、経済成長に加えて若い起業家が増えていることを強みとして、2015年まで毎年10パーセントの会員成長を目標として掲げました。

ほかの地域では次のような計画が立てられています。



ニューオーリンズで開催された2011年RI国際大会中、奉仕プロジェクトに参加したローターアクターたち。複数の地域別計画では、ローターアクターとの関係を保ち、ロータリー・クラブに入会できるよう援助することが挙げられて

- 英国では、ロータリーに対する一般の理解不足を解消するため、全国規模の広報キャンペーンを実施する計画です。また、ソーシャルメディアを活用して入会への関心を高め、会員維持を図ります。
- 北米の計画は、会員維持率に注目し、退会の理由に焦点を当てることを提案しています。会員が「顧客」であるとしたら、その「顧客」にとってのロータリーの価値は何であるかを考え、そこで定義される価値を推進します。
- ヨーロッパでは、クラブに非公式な会合の実施を奨励すること、出席に関して柔軟性を持たせること、学友を例会や行事に招くことなどが方策として挙げられています。

多くの地域の計画は、5月に理事会の承認を受けましたが、現在計画を立案中の地域は、11月の理事会会合に計画を提出する予定です。

## 参加資格認定手続きに向けて準備を始めましょう

ロータリー財団の新しい補助金モデルでは、補助金の申請に先立って参加資格の認定を受ける必要があります。その認定手続きについてご紹介します。

2013-14年度新地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントを申請するにはまず、地区ガバナー、ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長が、地区の参加資格認定手続きを行う必要があります。この認定手続きは、財団の補助金資金を管理するにあたり、地区とクラブに必要な財務管理および資金管理の体制が整っていることを確認するためのものです。

10月上旬から利用できる新しいオンラインシステムを通じて、「地区の覚書(MOU)」を理解し、これを実行するための準備を整えることができます。10月下旬には続いて、新地区補助金の申請ページが利用可能となります。今年初めにこのオンラインシステムを試用したロータリアンからは、「うまく構成されている」「予想よりも使いやすかった」と好評です。

オンラインシステムの利用に備えて、今から次のような準備を行っておくことをお勧めします。

- 地区の覚書をダウンロードして読む。
- 新補助金モデルに備えるための地区の移行準備資料を読み、またクラブ向けの移行準備資料をクラブに配布する。これらの資料は随時更新されるため、常に最新版を参照する。
- 新補助金モデルについてクラブに説明できるよう、「補助金管理セミナー指導者用手引き」を読んでおく。
- 地区の財務管理計画の立案を始める。この計画立案には、「地区ロータリー財団委員会要覧」を参照したり、[learn.rotary.org](http://learn.rotary.org) の参加資格認定に関する資料を活用できる。
- ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)や未来の夢試験地区からアイデアやアドバイスをもらう。

### \*\*\* 役立つ資料 \*\*\*

財団補助金についてよく尋ねられる質問

財団補助金や未来の夢に関する質問への回答が掲載されています。

[learn.rotary.org](http://learn.rotary.org)

新補助金モデルのほかロータリーのさまざまなトピックについて学べるエラーニング学習システム。

[www.rotary.org/ja/grants](http://www.rotary.org/ja/grants)

新しい補助金の概要やリソースをご紹介します。

お問い合わせは、Eメール([qualification@rotary.org](mailto:qualification@rotary.org))にてご連絡ください。

